



固相合成法の基礎と応用

～設計、副反応および製造について～

概要

近年ペプチドベースの治療法は、多くの医薬品開発プログラムの将来として期待されており、これらの化合物は、癌ワクチン、個別化医療、代謝性疾患や心血管疾患の治療など、多くの臨床治療分野で利用されています。

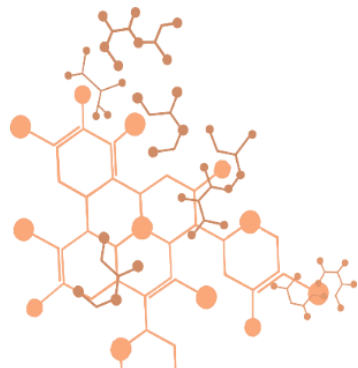
これらの画期的な創薬は通常、標的配列の固相ペプチド合成(SPPS)から研究が始まります。

ペプチドの化学的複雑さが増す中で、新しいペプチド配列の合成を自動化するプロトコルを開発するときに、成功の可能性を最大化するにはどうすればよいでしょうか。

副反応のリスクを最小限に抑えるにはどうすればよいでしょうか？そして、製造に移行するときに研究者が直面する課題は何でしょうか？

本オンラインセミナーでは以下の内容をご説明いたします。

- ・合成配列の分析や合成方法論などの基礎に焦点を当てて、SPPS 理論と合成設計の主要な領域について。
- ・SPPS 中に発生する副反応に対するの合成戦略について。
- ・非臨床用ペプチド製品を製造する際の cGMP および規制順守に重要なペプチド合成装置の機能について。



会場: **B 会場** 9/8 (水) 12:20～13:20

アステック 株式会社
GYROS PROTEIN
Technologies

〒169-0075 東京都新宿高田馬場 4-39-7
TEL:03-3366-0811 FAX:03-3365-5577

E-mail: unichem@astechcorp.co.jp